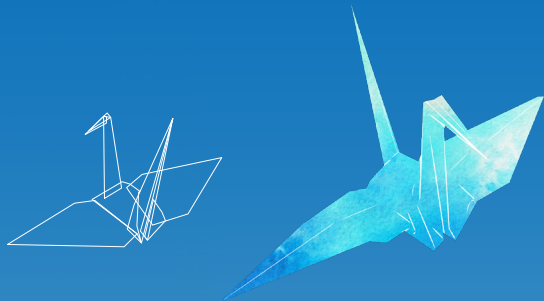




被爆



We're
Peace-Loving
Citizens!

Hiroshima 2025



「人道イニシアティブ」に

内実を与え、

80

力強く支えるヒロシマの

重要な役割

周年
特別国際シンポジウム

日時

2025年

8月6日(水)

17:00~19:45 (開場 16:00)

プログラム program

◆第一部

被爆者セッション

「壊滅的な人道的結末」の具体的な内容

映像

「人類の壊滅に内実を与える
広島原爆体験」上映

司会

ファンデルドゥース瑠璃

Luli van der Does

(広島大学平和センター長・
大学院人間社会科学研究科准教授)

出演:被爆者

- 梶本 淑子 Yoshiko KAJIMOTO
- 河野 キヨ美 Kiyomi KONO
- 笠岡 貞江 Sadae KASAOKA



ライブ配信も
ご視聴ください



<日本語版>



<English>

会場

広島平和記念資料館

東館地下1階 メモリアルホール

(広島市中区中島町1-2)

◆第二部

パネルディスカッション

「人道イニシアティブ」に内実を与え、
力強く支えるヒロシマの重要な役割

司会

中村 桂子

Keiko NAKAMURA

(長崎大学核兵器廃絶研究センター
(RECNA) 准教授)

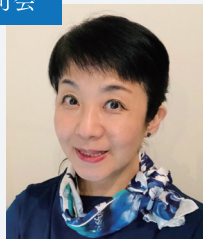


登壇者

- 中満 泉 Izumi NAKAMITSU
(国際連合事務次長 (軍縮担当上級代表))
- アレクサンダー・クメント Alexander KMENTT
(オーストリア外務省軍縮・軍備管理・不拡散局長/大使)
- メリッサ・パーク Melissa PARKE
(核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 事務局長)
- 黒澤 満 Mitsuru KUROSAWA
(大阪大学名誉教授)
- カシット・ピロム Kasit PIROMYA
(平和首長会議スペシャルアドバイザー、元タイ外務大臣)
- 谷 史郎 Shiro TANI
(平和文化センター副理事長 (平和首長会議事務局))



司会



ファンデルドゥース瑠璃 Luli van der Does (広島大学平和センター長・大学院人間社会科学研究所准教授)

専門は記憶学。被爆体験と紛争後復興・国際平和構築。英国国立エディンバラ大学応用言語学研究所講師、ケンブリッジ大学応用言語学研究所研究員、ケンブリッジ大学中東アジア学部客員研究員およびシェフィールド大学東洋学研究院講師、2019年広島大学平和センター准教授を経て2025年より現職。

◆第二部 パネルディスカッション 「人道イニシアティブ」に内実を与え、力強く支えるヒロシマの重要な役割

司会



中村 桂子 Keiko NAKAMURA 長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 准教授

特定非営利活動法人ピースデポにて研究員・事務局長を務めた後、2012年より現職。「核兵器問題をいかに伝えるか」をテーマに、平和・軍縮教育の観点から研究と実践を行っている。著書に『核のある世界とこれからを考えるガイドブック』(法律文化社、2020年)、共編著に Getting to Nuclear Zero in Northeast Asia: The Nuclear-Weapon-Free Zone as a Vehicle for Change(Routledge, 2025) などがある。

登壇者

中満 泉
Izumi NAKAMITSU
(国際連合事務次長(軍縮担当上級代表))

1989年国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) に入職。
国連平和維持活動 (PKO) 局政策・評価・訓練部長およびアジア・中東部長、国連開発計画 (UNDP) 危機対応局長などを経て2017年5月より現職。

黒澤 満
Mitsuru KUROSAWA
(大阪大学名誉教授)

大阪大学・大阪女学院大学名誉教授。
大阪大学法学博士。
NPT再検討会議日本政府代表団顧問 (1995, 2000, 2005, 2010, 2015)。
日本軍縮学会初代会長 (2009-2013)。
『21世紀の核軍縮』(広島平和研究所) 編著

アレクサンダー・クメント
Alexander KMENTT
(オーストリア外務省軍縮・軍備管理・不拡散局長/大使)

ウィーン、ジュネーブ、包括的核実験禁止条約機関などの準備委員会で軍縮や核不拡散に関する問題に従事。2016年から2019年まで、EU政治・安全保障委員会のオーストリア常駐代表 (大使)。核兵器の人道的影響に関するイニシアチブや核兵器禁止条約 (TPNW) の立案者の1人 (TPNW第一回締約国会議議長)。

カシット・ピロム
Kasit PIROMYA
(平和首長会議スペシャルアドバイザー、元タイ外務大臣)

タイ外務省の職員として、モスクワ、ジャカルタ、ボン・ベルリン、東京、ワシントンDCで大使を歴任。また、2008年12月から2011年8月まで外務大臣を務めた。現在、ASEAN人権議員連盟、核不拡散・軍縮に関するアジア太平洋リーダーズネットワーク、平和首長会議などに所属。

メリッサ・パーク
Melissa PARKE
(核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 事務局長)

元オーストラリア国際開発大臣、国連弁護士。2023年9月より現職。
ICANは2017年に「核兵器の使用がもたらす壊滅的な人道的結末への注目を集め、条約に基づく核兵器禁止の実現に向けた画期的な取り組み」によりノーベル平和賞を受賞した。

谷 史郎
Shiro TANI
(平和文化センター副理事長 (平和首長会議事務局))

東京大学法学部卒業後、1987年自治省 (現・総務省) に入職。広島市副市長、総務省自治財政局審議官などを経て、2023年6月より現職。